

庄内地域における 「魅力ある学校」づくり 通信

第6号 平成30年(2018年)2月



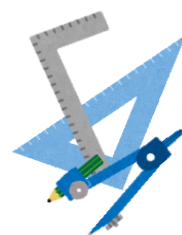
教育委員会は、昨年8月に「庄内地域における『魅力ある学校』づくり計画」を策定し、その実現に向けて取り組みを進めています。取り組みの進捗状況や今後の予定などについてご紹介します。

義務教育学校・(仮称)北校の設計業務について

～施設整備に関する取り組みがはじまりました～

計画では、庄内小学校、野田小学校、島田小学校、第六中学校、第十中学校を再編し、庄内小学校の敷地に9年制の義務教育学校・(仮称)北校を新設し、その施設については、既存の学校施設を利用するのではなく、校舎や体育館等すべての学校施設を新たに整備することとしています。

本市初の義務教育学校であることに加えて、南部地域の複合公共施設となる(仮称)南部コラボセンター(第六中学校の敷地に整備予定)と一体的に整備する必要があることから、価格だけでなく、実績や技術力など総合的に評価して決定する「公募型プロポーザル」方式により、設計事業者の選定を行いました。



建築分野など5名の学識経験者で構成する「豊中市南部地域における複合公共施設及び学校施設設計事業者選定委員会」における審査により、優秀提案事業者として株式会社類設計室が委託候補者に決定しました。

平成34年度(2022年度)の開校をめざし、平成30年度(2018年度)から平成31年度(2019年度)にかけて設計業務を、平成32年度(2020年度)から平成33年度(2021年度)にかけて建設工事を行う予定です。



○設計事業者決定までの取り組み

* 設計事業者の選定は、一次審査(事業者及び担当者の実績の評価)および二次審査(技術提案書及び業務の見積金額の評価)の2段階で行いました。

平成29年(2017年) 10月31日	第1回選定委員会	実施要項、審査基準等を審議しました。
平成29年(2017年) 11月2日	プロポーザルの公告	市ホームページに実施要項等を掲載しました。
平成29年(2017年) 11月22日	参加表明書等の受付	
平成29年(2017年) 11月27日	第2回選定委員会	一次審査(事業者及び担当者の実績の評価)を実施しました。
平成29年(2017年) 12月1日	一次審査結果の通知	
平成30年(2018年) 1月10日	技術提案書・見積書の受付	事業者から「義務教育学校設計を行う上での基本的コンセプト」「(仮称)南部コラボセンター建物概要(案)に基づく施設イメージ」、「建設コストを含めたLCC(ライフサイクルコスト)*低減」の3つのテーマに基づく技術提案書が提出されました。
平成30年(2018年) 1月29日	第3回選定委員会	二次審査(事業者による技術提案書に基づくプレゼンテーション及びヒアリング)を実施し、株式会社類設計室を優秀提案事業者に選定しました。

※LCC(ライフサイクルコスト): 建物の企画、設計から建設工事、施設の運営、解体までにかかる費用

「小中一貫教育全国サミット in 京都」に参加しました

1月25日（木）・26日（金）に「第12回小中一貫教育全国サミット in 京都」が開催されました。

このサミットは「子どもたちの可能性を最大限に伸ばす義務教育9年間の更なる挑戦」を大会テーマに、全国の学校で取り組まれている実践を共有・交流し、それぞれの地域や学校の実態に応じて小中一貫教育の更なる推進を図ることを目的としており、北海道から沖縄まで全国各地から学校教育に携わる大勢の方々が参加されていました。本市からは教育委員会事務局の職員だけでなく、庄内地域の小中学校の教職員も多数参加しました。

1日目の25日（木）は、凌風学園（京都市）の授業を見学しました。凌風学園は、1中3小が統合し、平成24年（2012年）に開校した施設一体型の小中一貫校で、平成30年（2018年）4月からは義務教育学校への移行が予定されています。（通信第4号（H29.3月発行・市HP掲載）で凌風学園の施設を紹介しています。）

義務教育9年間を「4・3・2」の3つのステージに分け、9年間を見通してきめ細やかな指導に取り組んでおられ、当日は、研究テーマである「豊かなコミュニケーション力の育成」にむけて、各学年でペアやグループワークを中心に言語活動に取り組まれた授業を見学することができました。



2日目の26日（金）は、午前中、テーマ別に5つの分科会に分かれ、全国で取り組まれてきた先進的で創意工夫にあふれる多様な実践例の発表後、意見交流が行われました。また、午後には、小中一貫校校長経験者や学識経験者、保護者、地域の代表の方によるパネルディスカッションが行われ、小中一貫教育の取り組みについて、それぞれの立場からのご意見や思いを聞かせていただきました。

それぞれの地域や学校の実態と課題に応じて取り組まれている事例は、庄内地域において「魅力ある学校」づくりを進めるにあたって、大変参考になりました。

今後も、先進校への視察や交流をととして具体的な事例研究を行い、義務教育9年間の学びと育ちの連続性・系統性を大切にする指導方法や教育環境の整備に努め、家庭・地域と一体となって、「魅力ある学校」づくりに取り組んでまいります。



これまでの取り組みや通信のバックナンバーを市ホームページに掲載しています。

【市ホームページ】

トップページ > 子育て・教育 > 子育て・教育の取り組み > 庄内地域における「魅力ある学校」づくり

https://www.city.toyonaka.osaka.jp/kosodate/kosodatetorikumi/miryoku_gakko/index.html



発行

豊中市教育委員会事務局 学校教育課

電話：06-6858-2705 F A X：06-6846-9649

E-mail：kyokeikaku@city.toyonaka.osaka.jp

